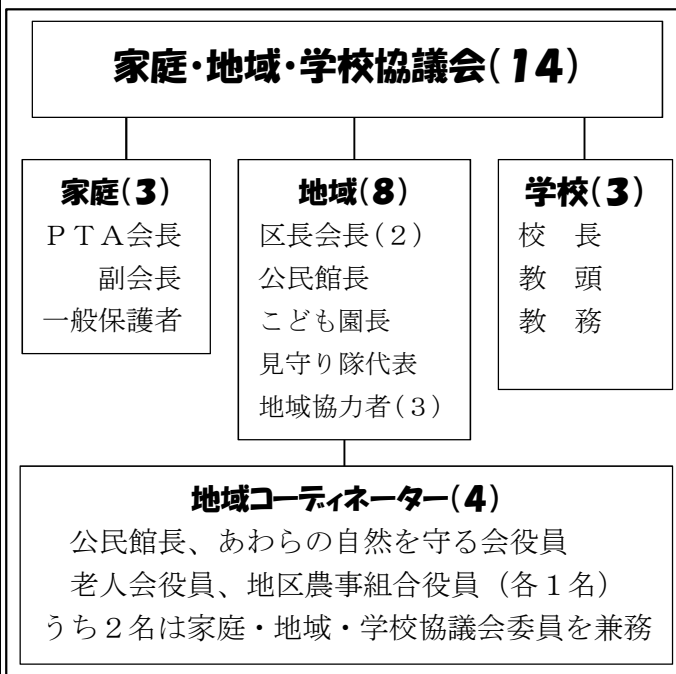


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- ①開催回数 (予定)
年間2回
- ②開催日程 (予定)
第1回 6月
第2回 2月
- ③協議内容 (予定)
 - ・地域の体験的な活動への積極的参加
 - ・地域に開かれた学校づくりの推進
 - ・地域の人材活用
 - ・郷土を大切にす活動
 - ・学校評価について

(3) 協議会における成果と課題

協議会の中で体験的な活動の計画を説明し、ご意見を出し合っていたくことによって、実際に活動を行う際に、協議会の委員の方にも参加していただくことができた。また、学校の教育活動全般について理解をしていただくと共に、学校評価について貴重なご意見をいただくことができた。

協議会の回数は限られているので、常時ご意見をお聞きできるような工夫が必要である。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

校区や市内の自然、文化財、産業についての調査、体験、発信する活動を通して、自分たちの住む地域のよさを知り、ふるさとを愛する心を育てる。また、地域の行事などに、自分たちならではのアイデアを提案しながら積極的に参加しようとする態度を養う。

(2) 活動の実際

①郷土の偉人藤野巖九郎先生についての学習 (4・5・6年生)

前年度の秋に出版された学習漫画『藤野先生と魯迅』(ポプラ社)は、下番地区出身の藤野巖九郎先生を扱っており、漫画であることもあって、児童には人気であった。原作者の後藤ひろみ氏のお話を直接聞いてみたらという誘いに児童が大変興味を示した。児童の発案で講演会のポスターをカラーの画像を使用して作成し、地区の掲示板に掲示してもらった。地域コーディネーターのご厚意で公民館で開催できたこともあり、当日は地域の方が20名以上参加された。



講演会等での学びを発信する場として、専用の掲示板を設置し、学校公開日に保護者や地域の

(様式3)

方に見てもらえるようにした。この掲示板は、ほかのふるさと学習の成果の発表の場としても活用している。

講演会で藤野先生の生涯に興味をもった5年生は、藤野先生の業績に

詳しい方に3回にわたって特別授業をしてもらい、さらに学びを深めることができた。

6年生は、総合的な学習で藤野先生について調べたことをPRビデオにまとめた。3月に中国・紹興市を訪れる中学生に託して、藤野先生にゆかりのある中国の方に見てもらおう計画をしていたが、中学校の中国への使節団派遣が中止となったため、次年度の使節団訪問時等に活用の予定である。

②春日の森の観察会（3年生）、野鳥を知る会（5、6年生）

地域コーディネーターのお世話により、プラントピア（植物園）の園長に来ていただき、学校に隣接する春日の森の観察会を行った。すぐ隣にある豊かな自然に親しむよい機会となった。（10月）

2月には、野鳥の生態に詳しい方から春日の森や本荘地区を含む坂井平野に飛来する野鳥についてのお話をお聞きした。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

各活動において、企画についての助言、準備、連絡調整等を積極的にしていただいた。実施当日も可能な限り参加していただき、スムーズな運営に協力していただいた。

(4) 特に工夫した事項

全体として、地域の自然・歴史・産業をバランスよく知ることができる学習となるように計画した。また、児童の意見を取り入れて計画を立てるようにした。さらに、継続して毎年実施し、本荘小学校に入学した児童が必ず体験できるようにする活動と、その年の特色として特に力を入れる活動とを含めるようにした。

(5) 成果と課題

今年度は特に藤野巖九郎先生について学び、発信することに力を入れて学習活動を計画・実施することができた。特に講演会や学習発表会には保護者や地域の方々にも多数参加していただくことができた。児童は、地域の偉人や特色について、体験を通して学ばせることができた。

今後は、定番化してきた体験活動には、児童の意見や地域コーディネーターの方々のご協力を得ながら、新しい活動や見学地を加えることができるようにしていきたい。また、発信の場をもっと多様なものになるように工夫していきたい。

